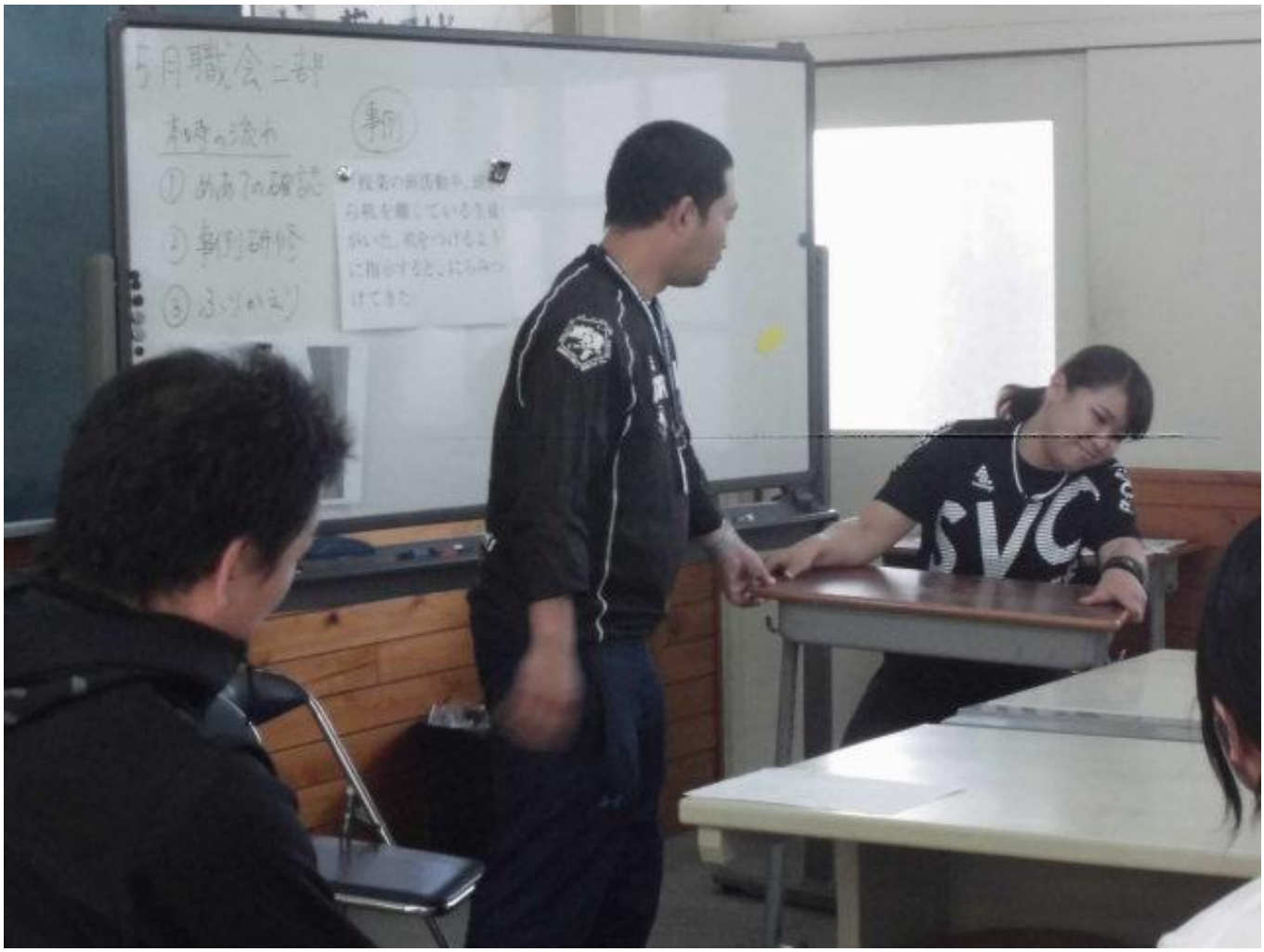
５月校内研修報告（2019 年５月 17 日実施）

〇研修テーマ「生徒が納得する伝え方」

どのような伝え方が、生徒が自ら反省できるのか。生徒役、教師役に分かれてのロールプレイで確認しあいました。生徒の行動の奥には必ず理由があります。生徒を指導するときには、行動の奥を読んで話を聞いていく必要があるということを改めて感じました。



〇振り返りシート【今日の研修で感じられたこと】から

・生徒指導は、その場その場の即座の判断が求められることが多いと思います。その中で、まちがう、あるいは誤った対応をして苦労したことは多々あります。「経験」という言葉で片付けるのではなく、理論にそって、子どもによりそって冷静に、先を見越した指導ができるようになりたいと改めて思いました。

・支援研修でも最近多いのが、問題行動の「きっかけは？」「その行動は？」「どんな支援を行う？その結果は？」という部分です。まさに生徒指導と特別支援の視点、観点は似ていると感じました。私自身も少しずつ背景を知った上での指導、支援が自分の中に入ってきているように思います。「ほめるは一つの手段である」をはじめ、多くのことを短時間で学びました。

・「力の生徒指導」ではなく、「寄り添った生徒指導」が大切であると今日の研修で改めて感じました。そのために、日頃の生徒との関係づくりや肯定的評価のスキルが大切であると思いました。今後に向けて色々と考えるきっかけとなりました。ありがとうございました！